

週 報

こひつじ

第41巻 9号
 大津キリスト教会
 菊池郡大津町室 119
 TEL 096-293-4470
 FAX 096-293-4961
 牧師 米村 英二

パンの奇蹟

その二 今、手もとにあるもので始める

そこで群集を空腹のまま帰らせ 彼らは十分食べたのである。こうし
 たくないと思われたイエスは、 てイエスは五千人を養われたので
 「どうしたらよいか」 ある。

と弟子たちに意見を求められた。 ここにわれわれの必要を満たす
 彼らをテストするためであったと ための第一の原理が示されている。
 いう。 それは、外から調達するのではな
 えずピリポが答えた。 く、今、手もとにあるもので始め
 「どこかで調達するには余りに大 るということである。

勢で費用がかかりすぎます」 戦争前、狭い国土の日本は、増
 とところがアンデレは、 加する人口を養うには、領土拡大
 「一人の少年が五つのパンと二匹 が必要と考え、アジア諸国を侵略
 の魚を持っています」 して植民地にし、そこに日本人を

と言つてその少年を連れて来た。 移住させた。 ところが小国主義を唱えた石橋
 イエスはすぐさま五つのパンと 湛山は、それに反対して言った。

二匹の魚を取り上げ、天を見あげ 日本が他国を侵略し、領土拡大
 て祈られた。そしてすわっている 者たちにはほいだけ分けられると、を図るなら、結局、国を滅ぼすこ

とになるだろう。だから満州はも とができただけでなく、その道德
 ちろん、朝鮮、台湾、樺太も捨て 的決断のゆえに世界の国々の尊敬
 る覚悟を持つべきである。それが を受けていただろう。また、今、
 唯一日本が生きる道であつて、国 日本がかかえている日韓・日中の
 防の上でも、国民を養う上でも、 問題もなかっただろう。

もつとも安全、かつ正しい道であ ると。 湛山の考えは、まさにイエスの
 しかし湛山の考えに耳を貸す人 言えないだろうか。
 はいなかった。

日本はその後も拡大路線を走り、 を養う道は、他に求めるのではな
 太平洋戦争に突入し、その結果、 く、今、自分の手にあるもので始
 破れ、すべてを失つたのである。 めることだったのだ。

湛山は戦争が終わると、歓喜に 次にイエスが示された原理は、
 溢れ、 ほんとうの豊かさはいつもわずか
 「新しい日本の前途は、実に洋々 なものから始まるということであ
 たるものがあります」 る。

と彼の発行する新聞の社説に書 イエスが用いられたのは、少年
 いた。 が提供した五つのパンと二匹の魚
 やがて彼の予言は的中すること であり、それを喜んでさしだした
 になる。 少年の犠牲的精神だった。

日本は戦後全部の植民地を失い、 奇蹟はそこから起こった。この
 四島だけになったが、それで十分 ように神は常に小さなものを用い
 やつてゆけた。それどころか、世 られる。

界第二の経済大国となったのだつ イエスは言われなかったか。
 た。

あのと湛山の警告に耳を傾け、 一粒の麦がもし地に落ちて死な
 進んで植民地を捨てていたら、日 なければ、それは一つのままです
 本は、アジア諸国を友人に持つこ かし、もし死ねば、豊かな実を
 結びます」(ヨハネ 一二の二四)

